

2020年6月29日
京都ホテルオークラ

— 持続可能な社会へ向けて — テイクアウト用プラスチック袋を 30%バイオマス素材配合へ変更

京都ホテルオークラ（本社：京都市中京区 ㈱京都ホテル、東証2部上場、代表取締役社長 福永法弘）では、ホテル直営カフェ、ベーカリー等で商品をお買い上げの際にお渡ししているプラスチック製買物袋（レジ袋）について、2020年7月1日（水）より、米ぬかなどバイオマス素材を30%配合したものに變更いたします。

京都ホテルオークラでは、京都市が推進する「DO YOU KYOTO?デー」の「ライトダウン」（建物外観照明の消灯）のほか、館内照明のLEDへの切り替え、プラスチック製ストローの使用量削減、生分解性プラスチック製素材への切り替えなど、地球環境に配慮した取り組みを行ってまいりました。

今回、国のプラスチック製買物袋有料化制度の開始を機に、バイオマス素材を配合した袋への切り替えを実施。10年以上にわたりバイオマス複合材料の開発を進めてきた、京都府京丹後市に拠点を置く「白石バイオマス」の素材を使った袋に変更いたします。

今後も、良き企業市民として、地元京都に根ざしつつ、社会の持続可能な発展に貢献してまいります。



<今回導入する袋>

米ぬかなど植物由来のバイオマス素材を30%配合し、消臭効果などももたせた素材を採用。
パン、ケーキ類のテイクアウトを中心に使用いたします。

*リリースの内容は発表現在のものです。諸般の事情により変更される場合がございます。

本件リリースに関するお問い合わせ先

京都ホテルオークラ Since 1888 経営企画部 営業企画課 広報担当：松岡

〒604-8558 京都市中京区河原町御池 / TEL: 075-254-2524 ・ FAX: 075-211-5162 / m-matsuoka@kyotohotel.co.jp